

金光教徒社 東棟、中央棟、西棟



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	こんこうきょうとしゃ ひがしとう ちゅうおうとう にしとう
所在地	浅口市金光町大谷
指定年月日	平成29年10月27日
解説	<p>金光教本部前の広場に北面する。東棟は、大正10年建設で、木造2階建、寄棟造、スレート葺で、建築面積128平方メートルである。切石積基礎に外壁下見板張とし、中央に入口を配する左右対称の外観を特徴とする。軒線中央部を僅かに切り上げ、ペディメント状に見せる洋風意匠の事務所建築である。中央棟は、昭和2年建設で、東棟と西棟の間に建つ。木造2階建、寄棟造、スレート葺で、建築面積125平方メートルを測る。外壁はモルタルを塗装して石積に見せる特異な外観で、パラペットを高く立ち上げて陸屋根風に見せる。内部は1階に事務室、応接室を配し、2階は現在倉庫とされている。西棟は、金光教徒新聞社の社屋として大正5年に建てられた。木造2階建、寄棟造、スレート葺、建築面積76平方メートルである。中央部と西側下屋に入口を設け、外壁下見板張りで、軒を板張りとするなど簡素な意匠でまとめる。地域の景観を形作る洋風建築である。</p>
アクセス方法	<p>[車]JR山陽本線金光駅南口から約2分 [公共交通]JR山陽本線金光駅北口から徒歩約10分</p>
公開状況	<p>東棟:1階部分の店舗部分のみが一般公開となります。その他は、一般公開されていません。中央棟・西棟:一般公開されていません。外観のみの見学になります。</p>
設備	
備考	<p>近くに金光教本部の駐車場とトイレ、障害者用トイレがあり、利用できます。</p>